

# 食品ロス削減の取組状況について(報告)



平成29年9月15日



## 食品ロスに係る現状・課題

## 食品ロス削減等に係る国等の動き

### 食品ロスとは

### 持続可能な開発目標(SDGs)(H27)

#### 食品廃棄物

#### 食品ロス(食べられるのに廃棄された食品)

食べ残し

過剰除去

手つかずのまま廃棄

- (12.3) 収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。

### 食品リサイクル法基本方針(H27)

- 国・地方公共団体・食品関連事業者・消費者等の関係者が連携して「食品ロス削減国民運動」を展開。

## 本県の排出量の状況と第四次廃棄物処理計画の目標

### 第四次滋賀県廃棄物処理計画(H28)

- 廃棄物削減に係る施策の1つとして「食品ロスの削減推進」を位置付け。

	H27	将来予測(H32)	計画目標値(H32)
1人1日当たりごみ排出量	g 843	870	820

⇒食品ロスの削減が計画目標達成に寄与

もったいない

## 食品ロス削減により期待される効果

SDGsや計画目標達成に向けて、平成28年度から普及啓発を中心とした取組を開始。平成29年度は「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会(H29.8～)」を設置し、関係者による情報共有・意見交換を行うとともに、連携した取組を推進。

環境負荷低減をはじめとする効果が期待される

- 国全体で年間約621万t(H26推計)。  
※事業者:約339万t、家庭:約282万t
- 全ての国民が毎日約134g(ご飯茶碗1杯分)捨てている量
- 世界全体の食糧援助量(約320万t(H26))より多い

- 焼却する廃棄物の減少⇒温室効果ガス等の環境負荷低減
- 最終処分量の減少 ⇒最終処分場の延命化
- 運搬や焼却に使用する化石燃料の節減
- (市町・事業者にとっては)処理費用の低減

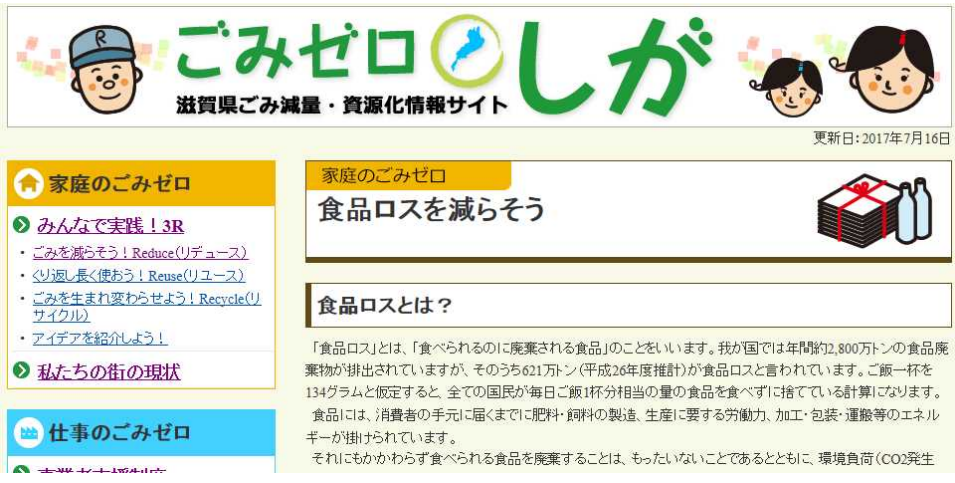
# 食品ロス削減に係る普及啓発等の取組状況

## 食品ロス削減レシピの募集 (H28.11～)

余った食材や料理を捨てずに有効に使う工夫や、できるだけ調理くずを出さない工夫などを盛り込んだ料理レシピを募集し、県HP「ごみゼロしが」で紹介している。(H29.9.15現在 41作品掲載)

## 県HP「ごみゼロしが」による情報提供 (H28.11～)

- 食べきりの推進、食品の買い過ぎ防止など、食品ロスの削減につながる取組の啓発
- フードバンク活動等の周知
- 食品ロス削減レシピの紹介




## テレビ滋賀プラスワンによる啓発 (H29.3)

テレビ番組において、食品ロスの現状・課題の啓発や、上記の食品ロス削減レシピの実演を行った。

## イベントブースでの啓発

ブース出展を通じて、食べきりの推進、食品の買い過ぎ防止など、食品ロスの削減につながる取組の啓発、およびフードバンク活動等の周知を行った。

- びわ湖環境ビジネスメッセ (H28.10.19～21)
- 三方よしエコフェア (H28.12.3)



びわ湖環境ビジネスメッセ (H28.10.19～21)

三方よしエコフェア (H28.12.3)

## 関係者との意見交換

食品ロス削減に係る連携体制の構築および取組への協力を求めるため、事業者、関係団体および市町との意見交換を実施した。(買い物ごみ減量推進フォーラムしが全体会議 (H28.6.30、H29.3.22)、随時各団体等へ訪問 等)

「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」の設置

事業者(小売店、飲食店、宿泊施設)、県民、行政(市町・県)の共通課題である買い物ごみ・食品ロスの削減に向けて、関係者間で現状把握・課題整理を行うとともに、連携した取組を推進するため、「買い物ごみ減量推進フォーラムしが」を改組して設置。

設置のねらい

- ① 関係者が当事者意識を持ち、取組を始めるための契機づくり
- ② 関係者間の情報共有・情報交換  
⇒現状把握・課題整理、各事業者間・市町間のノウハウの共有化、統一的な対応に係る調整など
- ③ 関係者の連携による取組の展開  
⇒「三方よしフードエコ推奨店」制度の運用、協働による啓発キャンペーンの実施
- ④ 官民挙げた「県民運動」の推進  
⇒県民運動により、全県的な気運を醸成し、取組の幅広い浸透を図る。

協議会を構成する各主体の役割分担の概要

- ・買い物ごみ・食品ロス削減に係る普及啓発・情報発信(協働による啓発キャンペーン、HP等での情報発信)・情報交換
- ・レジ袋削減協定の運用
- ・「三方よしフードエコ推奨店」制度の運用 等

滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会

	学識 経験者	事業者 (飲食店・宿泊施設)	事業者 (小売店)	事業者団体 県民団体等	市町	県
買い物ごみ ・食品ロス 共通	・取組全般に係る助言等	・協働による啓発キャンペーン	・協働による啓発キャンペーン	・協働による啓発キャンペーン ・県民・団体構成員等への周知・啓発	・協働による啓発キャンペーン ・排出事業者への指導・啓発 ・住民への啓発・情報提供(HP・広報紙、環境イベント等)	・協働による啓発キャンペーン ・協議会の事務局運営(会議運営、取組の企画・検討、関係者との調整等) ・県民への啓発・情報提供(HP・広報紙等)
買い物ごみ (レジ袋等の容器包装廃棄物)			・レジ袋削減取組 ・簡易包装の推進 ・店頭回収状況の情報提供	・新規協定締結者の募集協力	・新規協定締結者の募集協力	・新規協定締結者の募集 ・店頭回収状況の取りまとめ
食品ロス		・食品ロス削減の取組(料理提供量の調節、メニューの工夫、消費者への啓発(食べきり)等) ・「推奨店」制度への登録	・食品ロス削減の取組(バラ売り・量り売り、売り切り、消費者の啓発(家庭での食べきり、鮮度意識の改善)等) ・「推奨店」制度への登録	・「推奨店」の募集協力	・「推奨店」の募集協力 ・ごみ組成調査(食品ロス量の把握)	・「推奨店」の募集・受付登録・広報 ・市町・国の調査結果を踏まえた食品ロスの県全体推計

## 協議会の構成

学識 経験者	滋賀県立大学 金谷健教授（廃棄物学） <b>座長</b> 龍谷大学 淡路和則教授（環境経済学（食品関係）） 滋賀大学 久保加織教授（食生活学・食品衛生学）
事業者	(株)アヤハディオ、イオンビッグ(株)、イオンリテール(株)、 おうみ富士農業協同組合、生活協同組合コープしが、湖東農業協同組合、 醒井水の宿駅、新旭町農業協同組合、(株)ダイエー、(株)フタバヤ、 (株)ベイシア、(株)平和堂、マックスバリュ中部(株)、 (株)マツヤスーパー、(株)丸善、ユニー(株) (五十音順)
団体	(公財) 淡海環境保全財団 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、 滋賀県喫茶飲食業生活衛生同業組合、 (一社) 滋賀グリーン購入ネットワーク、 滋賀県健康推進員団体連絡協議会、ごみ問題を考える草津市民会議、 ごみを減らそうプロジェクト、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、 滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、 一般社団法人滋賀県食品衛生協会、滋賀県食品産業協議会、 滋賀県生活学校運動推進協議会、滋賀県地域女性団体連合会、 滋賀県旅館ホテル生活衛生同業組合 (五十音順)
行政機関	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、 野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、 豊郷町、甲良町、多賀町 滋賀県 農林水産省近畿農政局、環境省近畿地方環境事務所

## 平成29年度第1回協議会(H29.8.18)の概要

### 主な議題および会議結果

#### ○食品ロス削減に係る県民運動の展開

- ・「三方よし！！でフードエコ・プロジェクト」の名称により、全県的に食品ロス削減の取組を推進することを合意
- ・上記の「三方」は、「売り手」「買い手」「環境」を指すことを確認

#### ○三方よしフードエコ推奨店制度 ※

- ・推奨店制度の推進を合意
- ※三方よしフードエコ推奨店制度とは、食品ロスの削減に取り組む県内飲食店・宿泊施設や食料品小売店を推奨店として登録し、推奨店の取組等を県民に対して県HP等で紹介する制度。

#### ○食べ残した料理の持ち帰り

- ・どのようなことが実施可能なのかを検討していくことの確認
- ・「持ち帰りをぜひ進めるべき」、「食品衛生上の問題から店側の責任について懸念がある」、「持ち帰る場合の留意事項を文書にするなどの工夫により対応すべき」といった推進・慎重それぞれの立場から意見が出された。

# 「三方よしフードエコ推奨店」制度

## 制度概要

食品関係事業者の食品ロス削減取組を促進する取組の一つとして構築・運用。9月中の募集開始を予定。

### ①実施主体

滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会

### ②募集対象者

滋賀県内で営業する飲食店、宿泊施設、食料品小売店

料理の持ち帰りについては食品衛生上の課題も指摘されていることから協議会として今後検討していくこととする。

### ③推奨店に実施いただく内容

次の取組項目のうち、「**必須項目■**＋**選択項目□**を1項目以上」を実施することとする。

#### 飲食店・宿泊施設部門

- 食品ロス削減の呼びかけ
- 食べ残しを少なくするメニュー設定・量の調節等
- 無駄のない食材の確保・食材の使い切り
- 完食した来店者に対する独自サービス
- 上記以外の食品廃棄物の削減につながる取組

#### 食料品小売店部門

- 食品ロス削減の呼びかけ
- ばら売り、量り売り、割引販売等による販売
- 賞味期限表示・消費期限表示に係る啓発
- 食品ロス削減レシピの情報提供
- 上記以外の食品廃棄物の削減につながる取組

### ④推奨店のメリット

- 食品ロス削減による廃棄物の排出量の低減(⇒処理費用の低減)
- 県や市町のHP等で店舗・宿泊施設が推奨店であることが県民に広く紹介される
- 店舗への掲示用の普及啓発品(ステッカー、ポスター、チラシ、卓上ポップ、フードレスキューシール)が提供される

## 今後の新たな取組

### 普及啓発資材の作成 (資材作成中)

チラシ、ポスター、卓上POP、食品ロス削減アイデア集、啓発品(付箋 ※買い物キャンペーン配布用) 等  
※食品ロス削減アイデア集: 買い物時の工夫、食品保存のコツ、食品の使いきり・食べきりに関する内容の冊子

### 啓発動画の放映 (動画作成中)

調理時、買い物時、外食時の場面ごとの食品ロス削減啓発に係る動画を作成し、YouTube動画広告として公開し、放映する。放映期間は、H29.10～H30.1 の予定。

## 平成29年度 環境にやさしい買い物キャンペーン (10～11月予定)

県内小売店の店頭において、食品ロス削減、マイバッグ携帯、グリーン購入等に関する呼びかけ、チラシや啓発品等の配布を行う。また、レジ袋無料配布中止実施店舗以外の店舗では、併せてアンケート調査を実施する。

「滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会」構成団体・市町に対して、店頭啓発への協力を呼びかけ、事業者、団体、市町・県の協働で実施する。

### 啓発イベント開催 (H29.12.23予定)

インモール草津の催事スペースの一角で食品ロス削減の周知・啓発を行うイベントを開催する。  
イベントでは、消費者に対して、上記の啓発資材を配布するとともに、食品ロス削減への協力を呼びかける。また、テレビまたはラジオ放送の番組内で取り上げることで広くイベントを周知し、普及啓発へとつなげる。

### 出前講座 (随時受付)

県内小学生等を対象として、食品ロスの現状・課題、本県における取組、食品ロス削減に係る行動等に関する出前講座を行う。